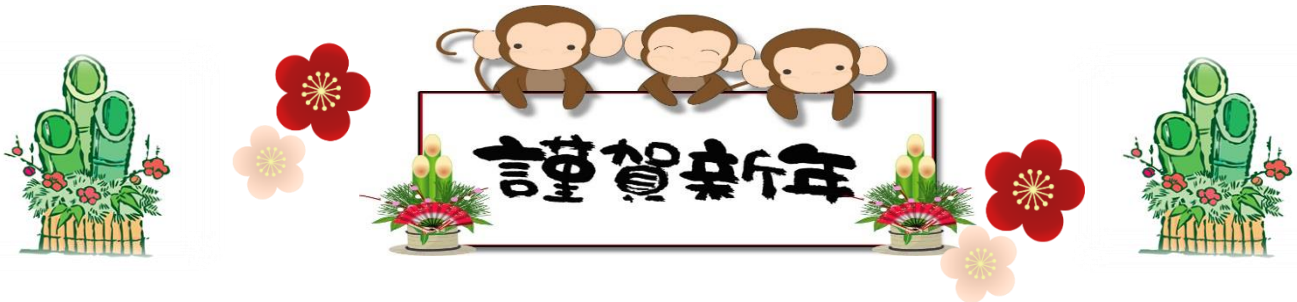


☆味坂まちづくりだより

「味坂校区協働のまちづくり協議会」

事務局 味坂校区公民館内

Tel 73-3858 Fax 73-2912



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えられ、お健やかに過ごしの事とお喜び申し上げます。日頃より「味坂校区協働のまちづくり協議会」の活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成27年度は、校区の諸団体及び役員の皆様75名により、これまでの「味坂校区協働のまちづくり委員会」から「味坂校区協働のまちづくり協議会」へと移行し、協議会規約・事業計画・事業予算等を審議し、味坂校区まちづくり協議会の事業運営を取り組んで参りました。

「校区健康運動会」を皮切りに、部会（事業実行委員会）の皆様のご尽力と地域の皆様のご協力により、年末の「味坂っ子の集い（紙飛行機教室）・イルミネーションまで、順調に大過なく遂行できましたことに、心より御礼申し上げます。また、年度内事業として「先進地視察研修会」「校区防災研修会（図上訓練）」「環境衛生校区会議」等を計画いたしております。

味坂校区まちづくり協議会では本年も種々の行事を計画し、人と人との関わり合い、そして助け合えるまちづくりのため味坂校区の皆様と共に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご支援とご協力をお願いいたしますと共に、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつと致します。

***** 味坂校区協働のまちづくり協議会会長 権藤英幸 ****



これからの動き



	期 日	行 事 名	場 所
行 事 等	1月19日（火）	先進地視察研修（協議会役員）	福岡市
	1月24日（日）	校区防災研修会（図上訓練）（防災防犯部会）	校区公民館
	2月3日（水）	第2回校区会議（環境衛生）（生活環境部会）	校区公民館
	2月7日（日）	小都市青少年育成市民会議校区実践発表会（青少年育成部会）	七夕ホール
	毎月第1水曜日	防犯パトロール（夜間）（防災防犯部会）	校区全域

★「防災の心得」No1（地震編）

《防災の心得》 ～ イザというとき慌てないために ～



《1》地震発生！命をまもる10ポイント

(1) “まず身の安全を確保”

- ・丈夫な**テーブル**や**机**の下に隠れ、落下物などから身を守る。余裕のない時は、**座布団**や**クッション**などで頭を保護しよう。手近に頭を守るものがない場合は、**素手で保護**する。その場合はしっかり組み、位置は頭から少し離す。



(2) “慌てて屋外に飛び出さない”

- ・大きな揺れに驚いて、**とっさに屋外に飛び出してしまうのは**大変危険。外に出る場合は、揺れがおさまった後、**瓦や看板**など頭上の落下物に十分注意して。阪神・淡路大震災では、わずか**10秒で家屋が崩壊**し、多くの人々が下敷きになって亡くなられましたが、すぐに外に飛び出すには大変危険です。

(3) “すばやく火の始末”

- ・地震が発生した際の**火の始末**は、**火災を防ぐ重要なポイント**。でも、タイミングを間違えるとかえって思わぬケガをすることもあるので、揺れの大きさを判断し**落ち着いて**火の始末をしましょう。

(4) “扉や窓を開けて脱出口を確保”

- ・地震によって建物が歪み、出入り口が開かなくなる場合がある。いち早く**扉や窓**を開け、建物に閉じ込められないように注意しましょう。



(5) “家具から離れる”

- ・特に、**観音開き食器棚**などは、中の物が一気に飛び出すので大変危険。また、**本棚**や**食器棚**などの下敷きになってしまうと、大ケガをするばかりか身動きがとれなくなり避難できなくなることも……。揺れを感じたらすぐに家具から離れ、**テーブル**などに身を隠そう。

(6) “室内の窓ガラスの破片に注意”

- ・地震の後、最も多いケガは**ガラスの破片**などによる切り傷。裸足で歩き回らず**スリッパ**などをはいて行動するようにしましょう。あらかじめ各部屋にスリッパを用意しておくことも大切です。

(7) “火がでたらすぐに消化”

- ・最も恐ろしい二次災害である火災を防ぐのは、個々の**初期消火**が重要な**ポイント**。火災が起きたら**「火事だ！」**と**大きな声**で近隣に知らせ、**隣近所と協力して**消化にあたろう。



(8) “協力し合って応急救護”

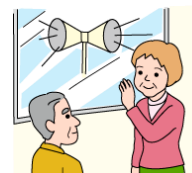
- ・ケガ人が出た場合は、すぐに助けを呼び、**隣近所で協力**しあって**応急救護**を行おう。

(9) “隣り近所と声をかけあって”

- ・普段から隣近所との**協力体制**を作っておこう。特に、近所に**お年寄り**や**小さな子ども**がいる場合は、地域ぐるみで声をかけあって保護しよう。

(10) “正しい情報を聞こう”

- ・混乱の中では口コミでさまざまな誤った情報が流されることも……。区の**防災無線放送**や**ラジオ**の正しい情報を聞き、デマでパニックに陥りたくないよう注意しましょう。



（我が家の防災対策チェック）

※ご家庭の備えは十分でしょうか？次のことが確認できているかチェックしてみてください。

とっさの安全確認と火災防止の手順は？	幼児や高齢者の避難補助の役割分担は？
家屋の補強、家具の転倒・落下の防止策は？	避難経路と避難場所は？
非常持ち出し品の入った袋の準備と置き場所は？	家族間の連絡方法と最終的な避難場所は？